



池戸一成 後援会 会報

しぶがき通信

春号

発行日：令和6年4月

発行者：池戸一成後援会事務所

各務原市蘇原柿沢町1-15

TEL：371-2749

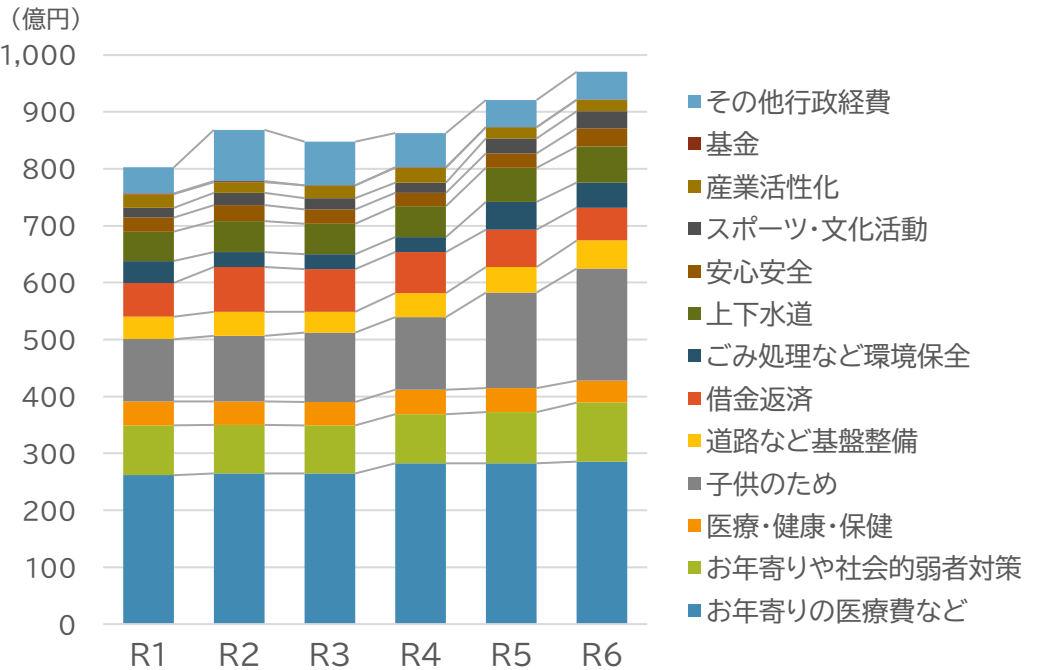
HP：http://ikedo.info/



過去最大の予算 971 億円 ～市民1人当たり歳出は約67万円～

右のグラフは令和元年度から令和6年度の当初予算(歳出)の推移です。一般会計・国保・介護保険・後期高齢者保険・水道・下水道の各事業会計における様々な『市民サービス』や、借金返済や事務経費などの『行政コスト』に充てられる予算額を一つに合算して、「何に、誰に、いくら使うか」を独自に計算し直したものです。各事業会計の間で行われる『繰入金』・『繰出金』を差し引くなどして、独自に計算しましたので、市が発表した単純合計した総額とは金額が異なります。

令和6年度の当初予算における『行政コストや市民サービスに充てられる費用』は、総額 970.6 億円で市民1人当たり約 66.9 万円となりました。『新型コロナウイルス』、『ロシアのウクライナ侵攻』、『円安』などの影響がなかった令和元年度と比較すると市民1人当たり約 12.7 万円の増加です。



グラフ-1 各務原市の当初予算の歳出の推移(令和元年度～令和6年度)

予算が増えた主なワケは・・・？

右の表に、『継続的に増加する傾向にある予算項目』や、『一時的に増加した予算項目』の主なものを抜き出してみました。

継続的に増加していること

表の中で、景気などに関係なく、社会現象により増加傾向にある予算には以下のものがあります。

- 『介護保険の給付費』が増えてきたのは、高齢化が進んだことに加え、介護サービスを提供する事業所が増えてきたことにより、サービスを利用する方が増えてきたためです。
- 『後期高齢者の医療費』は、75歳以上の人口が増えたことと、医療が高度化して高額化しているため増加しています。
- 『障がい者支援など』や『障がい児の療養費』が増えているのは、サービスを提供する事業所が増えてきたことにより、サービスを利用する方が増えてきたためです。
- 『生活保護費』は、受給世帯の多くが高齢者であり、保護脱却が難しく、年々増加しています。
- 『学校給食費』が増えているのは、物価高騰したことで小中学校の給食費が上がらないよう補助をしていることに加え、給食費の徴収や管理を学校ごとで行っていたものを市で一括管理するための費用があらたに加わっているためです。

何のため	主な内容	令和元年度	令和6年度	増減額
お年寄りの医療費や社会的弱者対策など	介護保険の給付費	102.7億円	123.7億円	20.9億円
	後期高齢者の医療費	31.5億円	44.7億円	13.3億円
	障がい者支援など	26.6億円	35.7億円	9.1億円
	定額減税の一部(国)	0円	8.0億円	8.0億円
	価格高騰の対応(国)	0円	2.7億円	2.7億円
	生活保護費	15.1億円	17.6億円	2.5億円
子供のため	特別支援学校の建設	0円	47.0億円	47.0億円
	学校給食費	5.2億円	14.9億円	9.7億円
	障がい児の療養費	4.4億円	13.2億円	8.9億円
	保育所費	27.6億円	35.1億円	7.5億円
基盤整備	公園の整備	3.6億円	8.9億円	5.3億円
ごみ処理など環境保全	ごみ処理施設の整備	19.8億円	38.3億円	18.6億円
	し尿処理施設の整備	16.0億円	1.9億円	△14.1億円
上下水道	PFAS対策	0円	4.5億円	4.5億円
安心安全	消防指令センター更新	18.1億円	25.8億円	7.6億円
文化活動	文化会館の整備	3.1億円	8.0億円	4.9億円
産業活性化	プレミアム商品券	7.5億円	0円	△7.5億円
その他	庁舎の建設	5.2億円	0円	△5.2億円

表-1 予算が増加した主な項目(令和元年度と令和6年度の比較)

本年度だけなど、一時的に増加したこと

表の中で、本年度に限った予算など、一時的に増加した予算には以下のものがあります。

- 『定額減税の一部』や『価格高騰の対応』は、国の政策の所得税などの減税が引ききれない低所得者などに給付金を支給します。(100%国費)
- 『公園の整備』は、前渡地区の木曾川沿い公園の整備や、大塚山の法面の土砂崩れ防止のための整備などです。
- 『ごみ処理施設の整備』は、北清掃センターの長寿命化と省電力機器の導入によるCO2削減のための設備改良などのため増加しました。
- 『消防指令センター更新』は、耐用年数を迎えるシステムを最新の高性能なものに更新するためのもので、これにより安全性・信頼性が上がります。
- 他に『特別支援学校の建設』、『PFAS対策』、『文化会館の整備』などが予算増加の要因としてあります。
- なお、『し尿処理施設の整備』、『プレミアム商品券』、『庁舎の建設』の事業は終了しましたので、その分は予算から減額されています。

ワンポイント解説

【表-1】に挙げた項目は主なもので、これら以外にも予算が増加しているものもあります。『保育所費』が増えています。主な理由は地域型保育事業所(現在、市内6か所)が増えたこと、保育士の処遇改善が進んだことがあります。これを含めた子育て支援のサービスが増えてきていますので、『各務原市の子育て支援』を裏面の特集で詳しく解説・紹介していきます。

【特集】 令和6年度の各務原市の子育て支援

表面の【表-1】では、令和元年度に比べ令和6年度の『保育所費』や『学校給食費』が増加していました。今回は、本年度の予算から主な子育て支援の予算をピックアップします。以下のものとは別に子育てのための予算として、小・中・特別支援学校での教育費などもあります。

健康診査などの子育て支援～約 2.7 億円(うち国・県費は約 1 億円)

妊娠・出産・産後の時期の母子のさまざまな健診などをサポートするための予算です。

- **妊娠・出産・子育て伴走型支援**(1 億 154 万円)～妊娠の届け出時から妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産・育児などに関する面談や情報発信など伴走型相談支援を図るとともに、経済的支援(10万円)を行う。
- **マタニティ広場**(128 万円)～安心して妊娠期間が過ごせるよう不安や悩みについて適切な指導を行うとともに、妊婦同士が交流できる場を提供する。
- 他に、**妊婦健康診査など**(1 億 1,492 万円)、**乳幼児健康診査**(1,263 万円)、**産後ケア**(876 万円)、**産婦健康診査**(866 万円)、**未熟児支援**(763 万円)、**新生児聴覚検査費**(379 万円)、**1か月児健康診査費**(178 万円)、**母乳育児相談費助成**(111 万円)、**低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援**(14 万円)などがあります。



子ども館などの子育て支援～約 86 億円(うち国・県費は約 51.8 億)

出産後から多年にわたって子育て世帯をサポートするための予算です。

- **子ども館の運営**(798 万円)～遊びを通じて子育て親子をサポートし、親子の集いの場の提供や育児相談、講座・講演会の開催、子育てに関する情報提供などを行う。
- **ファミリー・サポート・センター**(267 万円)～子育てに関するサポート活動をしたい人(サポート会員)と、サポートしてほしい人(利用会員)からなる登録制の組織で、概ね小学3年生までの児童のいる家庭の家事や育児の援助を行う。
- **親子ふれあいフェスタ**(95 万円)～学びの森と中部学院大学において、市内の高校生や大学生と子育て世代が地域ぐるみでふれあいイベントを行う。
- **ふれあい絵本デビュー**(77 万円)～4か月児健診時に絵本をプレゼントし、絵本による親子ふれあいのきっかけ作りのほか、より楽しい子育てができるよう子育て応援情報を提供する。
- 他に、**児童手当**(24 億 6,223 万円)、**児童扶養手当**(4 億 1,264 万円)、**こんにちは赤ちゃん訪問**(83 万円)、**第2子以降の出産祝金支給**(5,217 万円)、**高等学校就学の準備等支援**(4,783 万円)、**子ども食堂等運営補助**(190 万円)、**親子サロン運営支援**(12 万円)、**子どもの貧困対策推進**(10 万円)などがあります。



保育所・幼稚園などによる子育て支援～約 49.7 億円(うち国・県費は約 26.4 億)

幼児期における子育て世帯のサポートや、保育所・幼稚園の環境を整えることで安心・安全・便利にして、子育て支援をするための予算です。

- **一時預かり**(4,668 万円)(私立保育所分)～保護者の仕事・疾病・冠婚葬祭・リフレッシュなどの理由により、一時的にお子さんを預けたいとき公立・私立保育所などが預かる。(原則3日)また本年度は利用料軽減も行う。(1日:3,000 円→1,500 円、半日:1,500 円→800 円)
- **物価高騰による給食費補助**(4,276 万円)～物価高騰による給食費の保護者負担を軽減するため、保育所・幼稚園に給食費の一部を支援する。
- 他に、**未満児保育や延長保育**(2,331 万円)(私立保育所分)、**多子世帯病児・病後児保育利用無料化**(40 万円)、**紙おむつのサブスク導入**(35 万円)、**病児・病後児保育**(1,300 万円)、**医療的ケア児保育支援**(653 万円)、**私立保育所 ICT 化**(314 万円)、**午睡時事故防止**(116 万円)、**保育補助者雇上・保育体制強化**(4,989 万円)、**公立保育所施設整備**(3 億 557 万円)などがあります。

放課後児童クラブによる子育て支援～約 3.2 億円(うち国・県費は約 1.1 億)

就労などで保護者が昼間家庭にいない小学生に、放課後の生活の場を提供するための予算です。

- **放課後児童クラブ運営**(2 億 8,827 万円)、**放課後児童クラブ施設整備**(2,734 万円)などがあります。



障がい児・ひとり親家庭の子育て支援～約 13.7 億円(うち国・県費は約 10.2 億)

障がい児の家庭やひとり親家庭をサポートするための予算です。

- **すくすく応援隊訪問**(161 万円)～保育士・保健師・教員・療育の専門家で構成されたチームが保育所や幼稚園を訪問し、ことばや社会性の発達が緩やかな児童への接し方について、保育士たちに助言を行い、必要な療育につなげる。
- **仲良し親子の集い**(201 万円)～ひとり親家庭などの小学生以下の児童に対し、夏休みの楽しい思い出づくりを目的に日帰り旅行を行う。
- 他に、**放課後デイサービス**(8 億 116 万円)、**児童発達支援給付**(4 億 5,168 万円)、**高等職業訓練促進給付金**(1,363 万円)、**母子生活支援施設措置費**(1,864 万円)、**ひとり親家庭等高校生通学支援**(779 万円)、**自立支援教育訓練給付金**(418 万円)、**高等学校卒業程度認定試験合格支援**(30 万円)、**短期入所生活支援**(81 万円)などがあります。